

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
大和川二期地区

平成26年3月

新潟県糸魚川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	糸魚川市		地区名	大和川二期地区			面積	167ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	291.5百万円	国費率	40%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路((市)正山線歩道設置、(市)田伏竹ヶ花線側溝改修、(市)田伏梶屋敷線側溝改修、(市)梶屋敷区民会館線消雪パイプ整備、(市)横道線道路改良) 地域生活基盤施設(大和川小学校備蓄倉庫新設)									
			提案事業	地域創造支援事業(大和川小学校避難所整備(多目的室の改修))									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-			-			-			
			提案事業	-			-			-			
新たに追加した事業		基幹事業	道路((市)大和川海浜線道路改良)			大和川小学校周辺の交通環境改善のために追加			「通学路及び公共施設への歩きやすい道路整備率」に影響するが、目標値は据え置く				
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)			都市再生整備計画事業の効果の評価を行うために追加			影響なし				
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	変更なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	通学路及び公共施設への歩きやすい道路整備率	%	63	H20	100	H25	-	100		あり - なし -	地区内の生活道路整備により、歩行者が安全に通行できる環境が向上した。	平成26年4月
	指標2	災害時要援護者の収容人数	人	0	H20	60	H25	-	60		あり - なし -	大和川小学校内の避難所整備により、災害時に要援護者を収容可能なスペースが確保され、地域の防災力が高まった。	-
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	救急搬送による医療機関等への収容平均時間増減率	%	+18.8	H20			-	+6.0			糸魚川総合病院へのアクセス道路環境が改善され、救急搬送時の医療機関等への収容時間が増加する傾向が鈍化した。	平成27年4月
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>糸魚川総合病院へのアクセス道路である(市)正山線などの整備を行ったことで、歩道と車道の分離や、路面の改良などが実施され、振動なくスムーズに病院搬送ができるようになった。</li> <li>地域住民の防災に対する意識が高まり、区域内のすべての地区で自主防災組織が設立された。</li> <li>生活道路である(市)田伏竹ヶ花線などの側溝整備を行ったことで、手押し車などを利用される方々が道路端を通行しやすくなった。</li> <li>大和川小学校の多目的室を改修して避難所整備を行ったことに対し、地域の要援護者の方から喜びの声が聞かれている。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	特になし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	-				
	住民参加プロセス	特になし		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-	-				
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	-				
都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	-								
持続的なまちづくり体制の構築	花いっぱい運動(日常的な花植え・世話)の継続実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	-					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-	- 地域住民による花いっぱい運動の更なる拡がりを応援していく。					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	-					

## 様式2-2 地区の概要

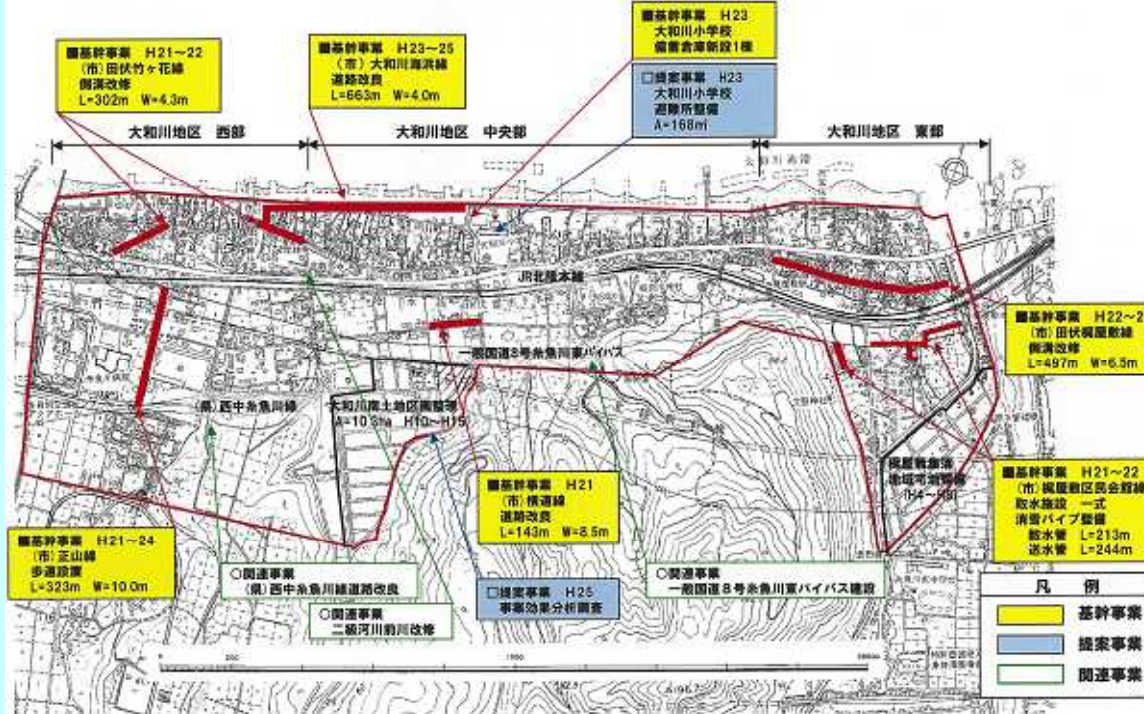
### 大和川二期地区(新潟県糸魚川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
子供からお年寄りまで安心して暮らせる、安全なまちづくり 小目標1:安全に通学、通院ができる生活の道づくり 小目標2:安心して生活するための防災機能の充実	通学路及び公共施設への歩きやすい道路整備率 単位: %	63 H20	100 H25	100 H25
	災害時要援護者の収容人数 単位: 人	0 H20	60 H25	60 H25
	救急搬送による医療機関等への収容平均時間増減率 単位: %	+18.8 H20		+6.0 H25

大和川小学校 備蓄倉庫新設



(市)正山線歩道設置



大和川小学校 避難所整備(多目的室の改修)



(市)福屋敷区民会館線 消雪パイプ整備



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内の主要な生活道路の歩道、側溝、消雪パイプ、拡幅などの整備が進展し、ハード面で歩行者が安心して歩くことができる一定の基盤が整った。</li> <li>大和川小学校において、避難所としての機能拡充、備蓄倉庫の新設が行われ、地区内のハード面の防災基盤が整った。</li> <li>一般国道8号糸魚川東バイパスや北陸新幹線の整備促進を図るとともに、並行在来線の第三セクター化など、地区を取り巻く環境の変化を見据えた居住環境の充実を図っていく必要がある。</li> <li>事業期間中に発生した東日本大震災による東北地方での被害の教訓を踏まえ、海岸部から内陸部に向かう方向の避難経路の強化が必要である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備された生活道路の適切な維持管理に努めていくとともに、緊急車両が通行しにくい道路の改善を引き続き図っていく。</li> <li>大和川小学校の避難所としての機能拡充や備蓄倉庫新設などの情報を地域住民に周知を図るとともに、ソフト面でも地域の防災力向上に向けた体制強化に取り組んでいく。</li> <li>地区内で現在進められている各種関連事業(一般国道8号糸魚川東バイパス整備、北陸新幹線沿線整備、二級河川前川改修など)を促進していくとともに、周辺環境の変化に応じて、都市基盤の充実を図っていく。</li> <li>一般国道8号糸魚川東バイパスや(県)西中糸魚川線の整備によって強化された東西方向軸に対し、これらと直交して海岸部と内陸部とを連絡する南北方向の避難を円滑化する経路の強化を図っていく。</li> </ul>